

2×4プレカットパネル工場

高精度パネル製造で支持伸びる

材惣木材

今年度実績550棟見込む

材惣木材(名古屋 市、鈴木龍一郎社長)



電子図面システムを導入しているパネル製作工程

は、名古屋西部港(愛知縣知事部飛鳥村)の社ではソフト編成や人員体制の見直しを図り、カット及びアッセンブリー、パネル製造を行っている。2×4加工ラインは、西部拠点内の工場供給体制の構築、需要棟(約2400平方メートル)に集約されている。CADや生産管理が経過したが、認知度が向上したことでリピート需要が定着し、新規のユーザーも増加している。今年度は消費税増税後の需要の落ち込みが岐阜、三重、静岡、西部に広がっており、小回りの利く工場として支持を伸ばしている。13年度の生産数量はアッセンブル、パネル製造合わせて550棟を見込んでおり、消費増税前の駆け込み需要と、新規ユーザーの増加により実績を伸ばした。

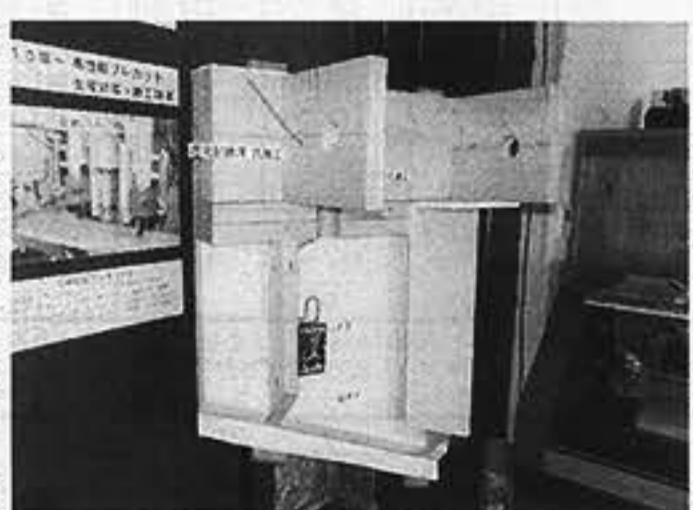
工場内のパネル製作には電子図面システム(キャリアネット)を導入している。工場規模の関係もあり、従来からの顧客で高輝度プロジェクタ等を一で原寸大のパネル図等を優先して加工業務を進めているが、低層の機械や作業は必要に応じて前向きに取組んでいく考えで、おりに部材を置くだけ、簡単に位置合わせができるため、ミスを防ぎ安定化を目指す。

2×4用ソフトウェア開発のキャリアネット(名古屋、鈴木和広社長)は、今年の事業展開について、プレカット・パネル作成支援CADの「PS/5」を筆頭に、ソフトの躍進を計画している。目標としては設計者の作業効率化(作業時間の短縮)、作業ミスの軽減、営業面にも役立つ根拠のある見積もり作成作業のさらなる標準化を掲げており、機能を強化したソフト群と、加工ユニットを自由に編成できるCAD/CAM加工機を軸に、同社が提唱する完成度の高いパネル「スマートパネル」の供給体制づくりを提案していく。

キャリアネット

同社は2×4の構造設計から生産設計、見積もり・積算にまたがるトータルCADソフト群の開発から、ソフトと連動して生産性を向上させる各種加工機などハードの開発まで手掛け、2×4コンポーネント工場に総合的なシステム提案とサポートを行っている。特に一昨年から、電気配線や換気用配管の穴あけや断熱材の取り付け等を工場で行って完成度を高めるスマートパネル構想を強く打ち出した。これは工場生産化によって施工性や品質が向上し、建築現場の職人不足や騒音・廃棄物問題などに対応できるのがポイントで、同社では工場側の体

ソフトウェア強化で顧客をさらに支援



同社が提唱するスマートパネルの見本

制を整えることでハウスメーカー側に省施工・短工期化を逆提案できるとして、今年度は、既存ユーザーの見積もり作成までの流れを今年度以上に間断なくスムーズに行えるようになる。ハードでは、2×4・在来材向けCAD/CAM加工機「スマートコンボ」の普及を進める。直切りや墨付けといった加工機をそれぞれユニット化した自由な組み合わせが可能で、将来的なユニット増設も簡単だ。このほかパネル製作台に高精度プロジェクタで原寸パネル図を直接投影する「電子図面システム」や3次元カットソーと

る。今後は賛同する工場とともに、実践段階に入る見込みだ。両ソフトが連携することにより、間取りプランから構造エック、構造図作成、合理化、効率化を支援する。

スマートパネル構想実現に向かう